



人づくり・学び舎 代表
浦井 啓子
Urai Keiko
すべての人が「働く幸せ」
を実感できる、
そんな社会を実現したい

こんにちは！「人づくり・学び舎」代表の浦井啓子です。
一人でも多くの方に「キャリア」や「キャリア教育」の意義と必要性を感じていただきたいと思います。昨年12月に【人づくり・学び舎新聞】を創刊いたしました。おかげさまで2号（春号）を発行できますことを心より嬉しく思っております。
春といえばスタートの季節。誰にとっても新しい人や場所との出会い、新しい挑戦など、自分自身を成長させるきっかけが満載の季節ですね。

キャリア教育 × レポート

キャリア教育コーディネイト事例 (平成29年2月)

中学3年生の家庭科「保育」単元のまとめとして、授業をコーディネイトさせていただきました。



今回のコンセプトは、「仕事と子育て、自分と家庭、男性の育児」という新しい

価値観や生き方を若者たちへ伝えること。外部講師に、3人の父親という顔をもつ林原さんをお願いしました。

* * *

夫婦がともに力を合わせて子育てや家事を行う大切さはこれまでも言われてきましたが、今後ますます共働き夫婦が増え、女性の社会進出が加速されていくことが当たり前となる社会において、男性が主体的に育児、家事をすることはとても重要なことだと考えています。

これから大人になり家庭を築く中学3年生にとって、実際に仕事の他に家事や子育てを日常的に実践されている方の考え方や想いを聴く機会があることは、男女に

関わらず次世代の新しい価値観や意識を育む上で重要だと思っています。



「子育ては夫婦ですもの。妻のサポートではなく主体的に関わるのが大事。」

父として家族を大切に日々の生活を丁寧に自らと周囲の人を活かす生き方を体現されている講師のお話は素直に子どもたちの心と未来に響いたと思います。

カウンセリングの手引き

Q. 「やらなければいけない」と頭ではわかっているのに、やる気が起きない時はどうすればいいですか？

A. 頭で考えていること（思考）と気持ち（感情）は別物です。思考と感情が同じ方向を向いている時、人は誰かや何かから強制されなくても自然に動く（行動する）ことができます。逆に、思考と感情が別の方向を向いている時は、やる気が起きない（行動できない）という問題が起きます。人は誰でもこれまでの経験から身につけてきた「こうあるべき」「普通はこうだ」などの様々な価値観や思考の枠組みを持っていますが、時にそれは自分自身の感情とは異なる場合もあるため、頭ではわかっているながら行動できなくなることがあるのです。カウンセリングでは、思考と感情の方向を整え、自然と行動が促される方法を見つけられるように支援していきます。

授業の1コマ ～キャリア教育とは何か？～

このところ教育の現場では「キャリア教育」という言葉を見聞きする機会が増えてきたように思います。キャリア教育とは「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」であると定義されています。もう少し分かりやすい表現とすれば、子どもや若者がキャリアを形成していくために必要な能力や態度の育成を目標として教育的に働きかけていくことです。また、キャリアを形成する上で重要なのは自らの力で生き方を選択していけるように必要な能力や態度を身につけることです。キャリア教育は、自分が自分として生きるために「学び続けたい」「働き続けたい」と願い、実現させていく力（能力・態度）を育てることとも言えます。



活動報告

【桜クリエイエ マッチングスタジアム2017 Spring】 プレゼンターとして登壇

3月10日、CAN 代表の浦井啓子、メンバー書家の片山諭志が、自身の活動と今後についてプレゼンいたしました。

マッチングスタジアムとは

クリエイターの活動や可能性を体感しながら、ビジネスマッチングの場をつくり、商品の開発や磨き上げにつなげていくことを目指したプロジェクト。

代表の浦井は、2013年に起業してからこれまでの活動をふりかえり、どのような思いを持って起業に至ったのか、今後どのようなことをしていきたいのかなど将来のビジョンについて発表しました。

続いて、異色の経歴からスタートした書家の片山のプレゼンがスタート。

学生時代はソフトテニスに打ち込み日本チャンピオンに上りつめた後、行政職員のかたわら指導者として活躍。しかし「言葉のもつ力」に惹かれ、そこから一転して未経験の「書」の世界に飛び込みます。ニューヨークなどの外国で、書パフォーマンスすることで、国境を越えて「書」や「言葉」のもつ力を確信します。

現在は、個人向け作品制作や企業のロゴ制作など、精力的に活動しています。さらにこれまでの作品を発表する個展を開催し、常に新しいものづくりに挑戦し、新境地を開き続けています。

CAN では、自分の信念や志に対して愚直にまっすぐに取り組む、そんな生き方をしているメンバーの姿を伝える活動として道プロジェクトを展開しています。



講師紹介 no.2

城端時絵 塗師屋治五右衛門 16 代目

小原 好喬
OHARA Yoshitomo



昭和 54 年 (1979)、富山県南砺市城端生まれ。
安土桃山時代・天正 3 年 (1575) より一子相伝で続く『城端時絵』の 16 代目。代々、小原治五右衛門の名を襲名し、国内外で作品を発表。曳山・庵屋台などの制作・修復にも従事する。2003 年 日本伝統工芸展 初入選。2006 年 日本工芸会正会員 認定。2011 年 全国山・鉾・屋台保存連合会 祭屋台等製作修理技術者 認定。
また、近年は代々続く城端時絵や自身の創作についての講演やプレゼンテーションも行っており、2016 年は、TEDx Himi、スタディサプリ LIVE(株式会社リクルートマーケティングパートナーズ)に登壇する。

Information

【道 Project】では、講師派遣を行なっています。

学校などの趣旨に合わせてご希望の講師を選んで頂き、授業・学年集会・PTA 活動、各種組合団体、会社などに講師を派遣いたします。スケジュールやご予算など、気軽にご相談ください。

様々な職業の大人が講師となりそれぞれが歩む道(仕事)についての内容、そこに懸ける思い、志、あり方などを授業・講演を通じて広く伝えます。

進路を考え始める年齢の生徒や学生たちに新しいきっかけや価値観を提供することが私たちの願いです。